令和3年度行政評価 事務事業評価シート（令和2年度実績）

事務事業コード	020102010	予算コード	01049210	従事人員（人）		投入コスト（千円）		評価	評価点	一次評価	A
事務事業名	学校安全緊急対策事業			正規職員数	0.35	国庫支出金	165	有効性	A	引続き、市内１３小学校の正門、あるいは通用門脇の受付室に受付員を常駐させ、来訪者の確認を行い、不審者発見時通報を行うことが必要である。 児童生徒が巻き込まれる事件や事故が多発する中、保護者のニーズも学校の安全対策に対する要望が増えてきている。学校敷地内だけではなく、通学路等の対策も含めスクールガードリーダーの増員も含めて検討が必要である。	
担当課	学校教育課			嘱託職員数	0	府支出金	600				
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数	0.05	市債	0	効率性	B		
				歳出（千円）		その他	0				
				人件費総額	2,788	一般財源	18,996	妥当性	A		
						減価償却費	0				
						事業費	16,973	受益者負担	該当なし		
事務事業類型	運営事業			フルコスト（千円）			19,761	緊急性	A	事務事業実施内容	
実施手法	一部委託			市民1人当りコスト（円）			196				
対象				活動指標		R2実績		公的関与	A	市内１３小学校の正門、あるいは通用門脇の受付室に受付員を常駐させ、来訪者の確認を行い、不審者発見時通報を行う。	
特定の市民		対象数	5095	のべ配置人数			4,167.0				
市内１３小学校の児童及び教職員								実施主体・委託化	B		
事業の内容											
市内１３小学校の正門、あるいは通用門脇の受付室に受付員を常駐させ、来訪者の確認を行い、不審者発見時通報を行う。 スクールガードリーダーによる学校の巡回指導と評価等の実施を行う。								他の事務事業との関連	A		
				成果指標		R2実績		透明性	該当なし		
				のべ配置日数			2,880.3				
								財政健全化計画	該当なし		
								財政健全化の取組	該当なし		
				コスト指標		R2実績		改革改善プラン達成度	該当なし		
事業の目的				対象者１人当たりの経費			3,878.5				
小学校において、学校安全管理マニュアルに基づき、来校者のチェック、不審者発見時の通報を行うための要員の配置を行い、学校生活の安全を守る。 学校や通学路における子どもの安全確保を図る。											